

医療機関のデータ基盤構築支援とAIを活用した治験・臨床研究の効率化への取り組み



公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
医療イノベーション推進センター
学術研究推進室長

岡本 里香 氏

医療イノベーション推進センター（TRI）では、医療機関が保有する大量の臨床情報利活用のため、データ基盤構築とデータクレンジングや解析支援に取り組んでいる。事例として、神戸市立医療センター中央市民病院の1)全身性エリテマトーデス患者、2) 心臓血管外科手術記録、3)人工内耳植え込み患者の各データベースを構築した。1)ではTRIが匿名化・クレンジング・背景解析等を行い、京都大学奥野研究室における患者層別化等のAI解析に貢献している。

また、治験・臨床研究の効率化に向けて、患者情報と臨床試験情報のマッチングプラットフォーム構築を検討している。患者情報はa)電子カルテ情報とb) 患者による登録情報とし、a)は日本IBMとの共同研究として、まずは臨床試験の選択・除外基準を大規模言語モデル（LLM）で構造化した。b)は奥野教授率いるライフインテリジェンスコンソーシアム（LINC）の一員として検討を進めている。本講演では、TRIの取り組みについて、現状と将来像を紹介したい。